

記者発表資料

自然科学研究科 准教授 後藤丹十郎

「岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおける実践的園芸福祉活動-教育学部附属特別支援学校との共同環境整備-」
略称「FSセンターの園芸福祉（活動）-福祉環境整備」

目的

岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター（以下FSセンター）における実践的園芸福祉活動の一つとして、農学部で開発された技術を用いて教育学部附属特別支援学校とFSセンターとが協同で実施する。本活動の詳細については、教育学部附属特別支援学校の生徒が校外で行う作業の場においても、日々の学習の成果を発揮することができることや、校外の指導者に対して、質問したり報告したりして指示されたことを正確にやり遂げることができることを確認することである。

内容

岡山大学の学内環境整備の一貫として、事務局棟前の駐車場の花壇用スペースにパンジーを定植する。作業内容としては、農学部と民間企業（みのる産業）とで協同開発された新規植物育成用固化培地（商品名：エクセルソイル、固まっけていて崩れないため誰でも植えやすい土）を用いて、10月16日に育苗用ポットに鉢上げしたパンジー（写真1、2）を、12月上旬に花壇に定植する。



写真1. 鉢に土をつめる作業



写真2. 苗を鉢上げする作業